

プロジェクト名	実技教育支援コーディネーターの養成と配置効果の科学的検証 ～ 図画工作・音楽・書写の「実践知」習得を基盤とした「潜在的カリキュラム」の開発 ～		
プロジェクト期間	平成 22 年度		
申請代表者 (所属講座等)	小原 俊樹 (美術教育講座)	共同研究者 (所属講座等)	和田圭壮 他 11 名 (美術教育講座)
取組方法および 取組実績の概要	<p>すでに申請をおこなった概算要求：特別経費プロジェクト課題の年度計画では、平成 23 年度に教育委員会と研究拠点校の選出や実技教育支援コーディネーターの配置に関する協議を予定している。それに先立ち、研究拠点校の 1 つとして想定している赤間小学校において、すでに今年度の実施が決まっている書写ならびに図画工作科の実践時に限定して実技教育支援コーディネーターを実際に配置し、その成果や課題を抽出することで、提案する仮説に具体性を与え、より効率的な協議と充実した成果を導くことを目的に実践的検証をおこなった。</p> <p>実技教育支援コーディネーターの配置期間を以下のように設定し、条件などを決定した上で、美術教育講座講座会議において 2 名の候補者を選出した。</p> <p>1) 9 月 10 日 (金) ～10 月 8 日 (金) 16 日間、巢立早希 (本学大学院 2 年生)</p> <p>2) 10 月 12 日 (火) ～1 月 21 日 (金) 62 日間、大堂由香里 (本学初等美術選修卒業生)</p> <p>配置を予定する赤間小学校および宗像市教育委員会に了承を得たのち、8 月 31 日に各候補者に対する研修会を開催し、必要な知識・技能の指導とプロジェクトに係る役割の確認をおこなった。すでに実績があり協力体制の整備されている以下の実践に関して、実践期間を限定した実技教育支援コーディネーターの配置とその検証をおこなった。</p> <p>(1) 「体感型鑑賞教育プロジェクト」(2005-)、10 月 21 日</p> <p>(2) 「赤間小学校書写ミニ軸制作」(2006-、書写指導 2009-)、9 月 3 日、10 日、13 日・10 月 21 日</p> <p>(3) 「赤間小学校教科連動型鑑賞教育および卒業記念制作」(2006-)、10 月 26 日・12 月 15 日</p> <p>体制が整備されている実践に限定することで、学校の負担を軽減しつつ、これまでの実践では見えなかった教育現場の課題を抽出することができた。さらに、配置されたコーディネーターは、図工室等の環境整備に関する課題等を細かく調査し、23 年度の協議会では現実的かつ具体的な議題として提案できるように準備をすすめた。</p> <p>また、上記実践とは別に各実践に係る実技教室並びに教室環境の整備や、学校内の壁面などを活かした掲示方法の提案等の課題を課したが、小学校内でのプロジェクト内容に対する意識の共有が希薄であったため、十分な成果が得られたとはいえないものの、このような問題点を事前に把握することが本プロジェクトの目的であったので、この成果を踏まえた概算要求プロジェクトの実践準備にあたれることが、大きな成果といえる。</p>		

<p>研究成果の概要</p>	<p>本プロジェクトにおける成果は以下のものである。</p> <p>1：上記（1）－（3）を中心とした実践において、図工および書写の重要性を再認識できたとともに、各学校における指導方法の確立が困難であるという事実の確認と、実技教育支援コーディネーターを配置する必要性が確認できた。</p> <p>2：実際に各学校に配置するにあたっての問題点が抽出できた。</p> <p>3：実技教育支援コーディネーターのレベルに関する目安が確認でき、育成に係る内容が具体的に計画できるようになった。</p> <p>概算要求プロジェクトが無事採択され、本申請に係る実践は来年度以降も継続することとなった。本プロジェクトによる上記成果によって、来年度から始まる概算要求プロジェクト計画の以下の内容が達成できる。</p> <p>1：概算要求プロジェクトの初年度にあたる23年度の協議内容について、本プロジェクトによる実践に基づいた提案を当初からおこなうことで、研究拠点校の理解を得やすく、効率的な協議を進めることができる。</p> <p>2：24年度以降の試行に対する現実的な課題を想定し、その対処を目的とした調査・分析をおこなうことができる。</p> <p>3：23年度の調査・分析の精度を高め、概算要求プロジェクトでの充実した成果へとつながる。</p> <p>本プロジェクトの継続的課題を当初計画に盛り込み、一部を修正してより高度な実践をおこなうことが可能となった。さらに、学校現場での日常的な図工科教育に関するデータが1年間を通して集約できる点においても、新たな課題の抽出が見込まれる。</p>		
<p>外部資金獲得申請及び研究成果の公表方法について</p>			
<p>外部資金獲得申請（予定）</p>	<p>特別経費（概算要求）</p>	<p>研究成果の公表方法（予定）</p>	<p>特別経費が採択されたため、その計画に沿った形で発表を行う。</p>